

令和7年産水稻の8月15日現在における 10a 当たり収量の前年比見込み

**令和7年産主食用米の生産見込み（対前年56万玄米トン増）
に向け、おおむね順調に推移**

10a 当たり収量は、前年を「上回る」又は「やや上回る」が13府県、
「前年並み」が29都道府県、「やや下回る」が4県の見込み

【予測結果の概要】

- 気象データ（降水量、気温、日照時間、風速等）及び人工衛星データ（降水量、地表面温度、日射量、植生指数等）から作成される予測式に基づき予測した。
- 令和7年産水稻の10a 当たり収量の前年比見込みは、「上回る」又は「やや上回る」が13府県、「前年並み」が29都道府県、「やや下回る」が4県となった。
- 本年の状況は、7月以降の高温、渇水の影響による枯れ上がり等が一部地域で見られるものの、田植期（5月）以降、総じて多照で推移しており、8月15日現在における生産はおおむね良好な見込み。
- なお、8月15日以降も全国的に高温傾向が引き続くこと及び斑点米カメムシ類（イネカメムシを含む）の発生が多くなることが予想されており、品質等への影響に留意する必要がある。

表1 10a 当たり収量の前年比見込み（区分ごとの都道府県数）

10a 当たり収量の前年比見込み	都道府県数
上回る（対前年比106%以上）	1
やや上回る（対前年比105%～102%）	12
前年並み（対前年比101%～99%）	29
やや下回る（対前年比98%～95%）	4
下回る（対前年比94%以下）	0

- 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県は早期栽培を含まない普通栽培のみの10a 当たり収量の前年比見込みである。
- 沖縄県については、第二期稲の田植えが終了していないことから含んでいない。

- 10 a 当たり収量の前年比見込み（8月15日現在）は、その後の気象が、前年と同様に推移するとの前提ではなく、平年並みに推移するものとして予測を行ったものであることに留意が必要である。
- 10 a 当たり収量の前年比見込みは、気象データ及び人工衛星データを説明変数、10 a 当たり収量を目的変数として予測式（重回帰式）を作成し、予測したものである。なお、10 a 当たり予想収量は、未確定の要素が多いことから公表することとしていない。

表2 令和7年産水稻10a当たり収量の前年比見込み（8月15日現在）

区 分	10 a 当たり収量の 前年比見込み	区 分	10 a 当たり収量の 前年比見込み
北 海 道	前年並み	三 重	やや上回る
青 森	前年並み	滋 賀	前年並み
岩 手	やや下回る	京 都	前年並み
宮 城	やや下回る	大 阪	やや上回る
秋 田	やや下回る	兵 庫	やや上回る
山 形	やや上回る	奈 良	前年並み
福 島	前年並み	和 歌 山	前年並み
茨 城	前年並み	鳥 取	前年並み
栃 木	前年並み	島 根	前年並み
群 馬	前年並み	岡 山	前年並み
埼 玉	やや上回る	広 島	前年並み
千 葉	やや下回る	山 口	前年並み
東 京	前年並み	徳 島（普通栽培）	前年並み
神 奈 川	やや上回る	香 川	前年並み
新 潟	前年並み	愛 媛	前年並み
富 山	前年並み	高 知（普通栽培）	やや上回る
石 川	やや上回る	福 岡	やや上回る
福 井	前年並み	佐 賀	やや上回る
山 梨	やや上回る	長 崎	前年並み
長 野	前年並み	熊 本	前年並み
岐 阜	前年並み	大 分	前年並み
静 岡	上回る	宮 崎（普通栽培）	前年並み
愛 知	前年並み	鹿 児 島（普通栽培）	やや上回る

◎ 累年データ

表 1 水稻の年次別推移（全国）

年 産	作付面積 (主食用)	生産者が使用している ふるい目幅で選別			ふるい目幅 1.70mmで選別		作 付 面 積 (子実用)	ふるい目幅 1.70mmで選別 収 穫 量 (子実用)
		10 a 当 たり 収 穫 量	対前 年 比	収 穫 量 (主食用)	10 a 当 たり 収 穫 量	収 穫 量 (主食用 (生 産者ふるい下 米含む。))		
	ha	kg	%	t	kg	t	ha	t
平成27年産	1,406,000	515	nc	...	531	7,442,000	1,505,000	7,986,000
28	1,381,000	531	103	...	544	7,496,000	1,478,000	8,042,000
29	1,370,000	517	97	...	534	7,306,000	1,465,000	7,822,000
30	1,386,000	511	99	...	529	7,327,000	1,470,000	7,780,000
令和元	1,379,000	514	101	...	528	7,261,000	1,469,000	7,762,000
2	1,366,000	508	99	6,906,000	531	7,226,000	1,462,000	7,763,000
3	1,303,000	515	101	6,698,000	539	7,007,000	1,403,000	7,563,000
4	1,251,000	511	99	6,390,000	536	6,701,000	1,355,000	7,269,000
5	1,242,000	515	101	6,390,000	533	6,610,000	1,344,000	7,165,000
6	1,259,000	519	101	6,519,000	540	6,792,000	1,359,000	7,345,000

資料：農林水産省統計部『作物統計』

注：1 作付面積（主食用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。

2 生産者が使用しているふるい目幅で選別された10 a 当たり収量及び収穫量（主食用）は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である。

3 生産者が使用しているふるい目幅は、以下による。

平成27年産から令和元年産まで： 全国農業地域ごとに、過去5か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅である。

令和2年産以降： 都道府県ごとに、過去5か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅である。

4 令和7年産から収穫量（主食用）は生産者が使用しているふるい目幅で算出することとし、令和6年産までの収穫量（主食用）は、令和7年産以降、収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む。））と表記することとした。

5 ふるい目幅1.70mmで選別された10 a 当たり収量及び収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む。））は、ふるい目幅1.70mmで選別された玄米の重量である。

6 作付面積（子実用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から青刈り面積（飼料用米・WCS用稲等を含む。）を除いた面積である。

7 「nc」は、計算不能であることを示している。

8 「...」は、事実不詳又は調査を欠くものであることを示している。

表２ 水稻の年次別推移（都道府県）

区 分	最も多い使用割合の目幅	令和２年産		３		４		５		６	
		10a当たり収量	対前年比	10a当たり収量	対前年比	10a当たり収量	対前年比	10a当たり収量	対前年比	10a当たり収量	対前年比
	mm	kg		kg		kg		kg		kg	
北海道	1.90	557	100	570	102	563	99	555	99	562	101
青森	1.90	600	98	584	97	567	97	587	104	598	102
岩手	1.90	527	98	528	100	508	96	535	105	546	102
宮城	1.90	527	99	520	99	511	98	537	105	550	102
秋田	1.90	566	98	555	98	517	93	524	101	552	105
山形	1.90	592	97	592	100	560	95	564	101	553	98
福島	1.85	544	101	536	99	530	99	542	102	546	101
茨城	1.85	519	105	521	100	509	98	513	101	523	102
栃木	1.85	520	101	520	100	497	96	537	108	521	97
群馬	1.80	481	102	476	99	486	102	494	102	483	98
埼玉	1.80	487	104	489	100	484	99	472	98	463	98
千葉	1.80	528	104	539	102	535	99	550	103	559	102
東京	1.80	394	101	394	100	412	105	414	100	405	98
神奈川	1.80	464	102	470	101	481	102	486	101	463	95
新潟	1.85	542	102	507	94	525	104	502	96	515	103
富山	1.90	535	99	515	96	523	102	511	98	515	101
石川	1.90	505	100	500	99	502	100	499	99	495	99
福井	1.90	482	97	478	99	481	101	475	99	494	104
山梨	1.85	507	98	504	99	509	101	526	103	518	98
長野	1.85	590	97	579	98	589	102	601	102	604	100
岐阜	1.80	459	97	466	102	477	102	476	100	474	100
静岡	1.85	460	93	488	106	494	101	507	103	472	93
愛知	1.85	469	96	480	102	488	102	468	96	480	103
三重	1.85	458	98	474	103	489	103	483	99	468	97
滋賀	1.90	475	95	483	102	487	101	470	97	484	103
京都	1.85	484	98	486	100	497	102	489	98	512	105
大阪	1.80	448	92	476	106	489	103	489	100	472	97
兵庫	1.85	455	94	468	103	487	104	478	98	475	99
奈良	1.80	462	92	502	109	512	102	507	99	517	102
和歌山	1.80	446	93	484	109	511	106	498	97	500	100
鳥取	1.85	497	99	485	98	494	102	469	95	491	105
島根	1.90	476	96	483	101	485	100	489	101	485	99
岡山	1.85	475	94	498	105	496	100	497	100	496	100
広島	1.85	475	98	502	106	511	102	522	102	515	99
山口	1.85	350	76	485	139	502	104	493	98	497	101
徳島（普通栽培）	1.80	478	103	457	96	473	104	471	100	472	100
香川	1.80	480	103	485	101	493	102	485	98	481	99
愛媛	1.80	448	99	498	111	505	101	493	98	491	100
高知（普通栽培）	1.80	387	105	407	105	412	101	408	99	400	98
福岡	1.85	365	84	447	122	456	102	458	100	442	97
佐賀	1.85	394	135	487	124	479	98	500	104	482	96
長崎	1.80	397	91	460	116	442	96	477	108	472	99
熊本	1.85	428	92	465	109	461	99	496	108	487	98
大分	1.85	343	90	457	133	451	99	470	104	459	98
宮崎（普通栽培）	1.80	457	101	483	106	465	96	476	102	470	99
鹿児島（普通栽培）	1.80	444	100	474	107	463	98	482	104	458	95

資料：農林水産省統計部『作物統計』

注：１ 10a 当たり収量は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である。

２ 生産者が使用しているふるい目幅は、都道府県ごとに、過去５か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅である。

【統計表】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files/data?sinfid=000040296619&ext=xls>

【水稻の10a当たり収量の前年比見込み及び水稻調査結果の主な利活用】

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の策定のための資料
- ・ 「食料・農業・農村基本計画」における品目ごとの生産量や作付面積等のKPIの設定及び検証のための資料
- ・ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料

【ホームページ掲載案内】

本資料は農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「作付面積・生産量、家畜の頭数など」、品目別分類「米」の「作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y2

【関連リンク】

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局

<https://www.maff.go.jp/j/nousan/>

お問合せ先

◎本統計について

農林水産省 大臣官房統計部
生産流通消費統計課 普通作物統計班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3682
（直通）03-3502-5687

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 統計広報推進班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3589
（直通）03-6744-2037



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>

